

特集

子どものために働く プロフェSSIONALたち



安全で快適な学校生活を守る

学校業務員

学校業務員は、子どもたちが安心・安全に学校生活を送れるように、学校施設のメンテナンスや修繕などを行っています。市では、それぞれの学校で1、2人、全校で265人の学校業務員が働いています。その中の井口小学校(西区)で働く学校業務員を紹介します。

学校業務員の主な仕事

- 草刈り・樹木剪定 ●床補修 ●棚や掲示板などの製作・設置
- 花壇整備 ●溶接作業 ●水回りの整備 ●壁面や遊具などの塗装
- 清掃作業 ●学校行事の準備 など

椅子の修復作業



毎日使う教室の椅子。子どもたちがけがをしないよう、丁寧に溶接して修復します



階段の手すりの塗装

剥がれた塗装の修復。安全に配慮して、子どもたちが利用しない夏休み中などに作業します



花の植え替え

花壇やプランターの手入れも仕事の一つ。植え替えの仕方を子どもたちに教えます

学校設備の何でも屋

どんな要望にも応えてみせる

迅速・丁寧に

昨年から井口小学校で働いている宮脇龍太さん(40・上写真)は、学校業務員になって7年目。敷地内の草刈りや樹木剪定、校内外に落下物や突起物、滑りやすい場所がないかなどの点検を毎日行っています。子どもたちの安全を第一に、迅速で丁寧

な仕事をするのがモットーです。

学校業務員として20年以上働いている長谷川真介さん(45・下写真)は、難しい施設修繕などの依頼があった際、どうやって解決しようか考えると、わくわくするそうです。井口小学校を含む4校の学校業務員の指導もを行っています。

コメント

先輩の教えがあるので安心

たまたま読んだ市の広報紙で募集を知り、応募しました。未経験で始めましたが、先輩職員が丁寧に仕事を教えてくれるので安心です。子どもと直接関わることは少ないけれど、日々の作業が子どもたちの笑顔につながる。それが誇らしく、仕事への活力になっています。



宮脇さん

comment

子どもたちの笑顔が原動力

学校業務員は、他校の業務員と連携して、大規模な作業や難しい依頼にも対応しています。そのため大切にしているのは人とのつながり。学校がきれいになり、子どもたちや先生たちに喜んでもらえることが働く原動力になっています。



長谷川さん

児童に聞きました!

学校業務員さんってどんな人?

教室の壁の修復とか、学校の中をいつもきれいにしてくれて、とても助かっています。



宮原恵吾くん(12)

学校に欠かせない存在。花の植え方や水のやり方も教えてくれて、花に興味が高まりました。



大部和春翔くん(12)

募集

学校業務員(会計年度任用職員)を募集しています。募集案内、申し込み方法など、詳しくは市ホームページで。市HP ページ番号 358759



学校では、教員だけでなく、学校運営などに欠かせないさまざまな職業の人が働いています。その中から、学校業務員と放課後児童クラブ指導員を紹介します。学校業務員については教育委員会教職員課(☎504-2484、☎504-2328)、放課後児童クラブ指導員については教育委員会放課後対策課(☎242-2014、☎242-2018)

放課後児童クラブでは、学校の放課後や長期休業中に、保護者が共働きなどで家庭にいない小学生を預かっています。遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図ることを目的としています。

同クラブで、子どもたちが安全で楽しい時間を過ごせるようにサポートするのが放課後児童クラブ指導員です。

市では、現在、135カ所の放課後児童クラブ(民間を除く)で514人の指導員が働いています。その中の大町児童館(安佐南区)の放課後児童クラブで働く指導員を紹介します。

放課後児童クラブ指導員の主な仕事

- 子どもたちの受け入れ準備 ●おやつ準備 ●出欠の確認
- 宿題・おやつ・自由遊びなどの見守り ●工作や行事の計画立案・実施 など

宿題の見守り



自由遊びの見守り



元気いっぱいドッジボール



子どもたちが来ると、まずは宿題の見守りから。それが終わると、子どもたち自身で決めた自由遊びの見守り。一番人気はドッジボール。子どもたちがけがをしないよう目を配ります

利用者に聞きました!

放課後児童クラブ指導員さんってどんな人?



野迫泰地くん(6)

先生たちは、いつも元気で優しい。たくさんお話したり、僕が自由帳に描いたゲームと一緒に遊んでくれたりしてうれしいです。



児玉尚さん(39)

いつも子どもたちのことを気にかけてくれて、一人一人を理解してくれているように感じます。子どもが帰る時間を連絡帳に書き忘れた時も、必ず私に連絡して聞いてくれます。同じお母さんのような目線で接してくれていて、子どもを安心して預けることができます。

放課後を、安全に過ごせる環境を提供する

放課後児童クラブ指導員



安心して預けてもらえるように努めています

今年1月から指導員となった高木裕香さん(30・上写真中)。子どもたちの受け入れなど毎日の業務の他に、学校での話を聞いたり、相談に乗ったりすることも。工作や行事の計画も立てていま

す。計画を立てる際の一番の注意点は安全面。学年ごとに作業内容を細かく考えて計画し、事前に危険がないか指導員たちでシミュレーションします。

子どもたちが楽しく過ごすことができ、保護者にとって安心して預けられる環境づくりを心がけています。

「ただいま」「おかえり」

日々の積み重ねが信頼を築く

comment

元気をもらう毎日

以前、児童養護施設に勤めていた時、子どもとコミュニケーションを取る楽しさを知り、この職業を選びました。

子どもに対する言葉遣いや声掛けのタイミングなど、指導の仕方に気を配っています。子どもたちを注意する際、何が良くなかったのかを子どもたち自身が理解できるように伝えるのは簡単ではなく、悩むこともしばしば。先輩職員にその都度確認や相談をして解決しています。

子どもたちとの日々の関わりが積み重なって信頼関係を築くことができ、「大好き」と言ってもらえたり、手紙をもらったりしたときはとてもうれしいですね。これからも、子ども目線で、子どもに寄り添える指導員を目指して日々頑張っていきます。



高木さん

募集

児童館・放課後児童クラブ指導員(会計年度任用職員)の募集を本紙7ページに掲載しています。募集案内、申し込み方法など、詳しくは市ホームページで。

市HP ページ番号 343420

